

愛情込めて育てたサキホコレ 児童たちが地元の朝市で販売



秋田県横手市の朝市で29日、地元の小学生が育てた「サキホコレ」が販売された。児童自らが販売にあたり、朝市を訪れた人たちが次々と買い求めていた。「協力して愛情込めて作ったので、ぜひお買い求めくださ

い」と売り込む児童たち。

29日朝、横手市増田町の朝市で、増田小学校の5年生33人が「サキホコレ」を販売した。この「サキホコレ」は、児童たちが種まきから稲刈りまで携わった。有機肥料を使ったコメで、午前9時の販売開始とともに多くの人買い求めていた。買い物客:「初めて来た。サキホコレは初めて食べる。ぜひ食べてみたいと思って」100袋が用意されていたが、約1時間で完売した。児童は「植えるときに工夫するのが難しかった」「食べたとき、とてもおいしかったので、そのまま食べてサキホコレのおいしさを味わってほしい」と話していた。

29日の売り上げは、今後のコメ作りなどに役立てられる。 11月29日(水)19:00

(AKT「Live News あきた」より抜粋)